

専門ゼミ A		演習	教授 田中 秀臣	
科目カテゴリ	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナコースの必修科目	科目ナンバリング	11130301	

1. テーマ

文化（アイドル、マンガ、アニメ、音楽、映画など）やスポーツに関係するさまざまな話題を、経済学を利用して学んでいく。

2. ゼミのねらい・概要

専門ゼミの目的は、将来の就職や進学に役立つ世界を見る眼を養うことにある。ただそんなに難しいことをやることはしない。学生の皆さんに理解がしやすい文化的な話題（アイドル、マンガ、アニメ、音楽、映画、ファッション、食事）やまた野球、サッカー、駅伝、陸上、バレー、バスケットなどのスポーツに関する話題を簡単な経済学を通じて理解していくことがゼミのねらいである。経済学の基礎知識は特に必要ない。気楽な気持ちで毎回のゼミに出てほしい。学生側の希望があれば就職指導にも力をいれたい。

3. ゼミ計画

1. ゼミのすすめかた、目標	9. 大学スポーツの経済学入門
2. レジャーと文化とスポーツの経済学	10. プロスポーツの経済学
3. アイドルの経済学	11. オリンピックの経済効果
4. マンガの経済学	12. 就職問題への取り組み
5. アニメの経済学	13. K-POP と日本の男性アイドルの経済学
6. 世界と日本の音楽とクールジャパン戦略	14. ファッションとモードの経済学
7. グルメの経済学	15. 世界の貧困と文化
8. グルメの経済学応用	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

それぞれが自分の生活に合った準備をすればよく具体的な時間は特に指定しない。あえて目安をいえば、30分以内で構わない。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

第5回までに学生と個別に面談するなどの機会をもうけて直接に指導する。毎回、文化やスポーツ、時事問題への理解の度合いを確認し、学生に直接に指導する。講義時間中に学生からの感想を手短かに確認し、それを次の講義などに活用していく。

6. ゼミにおける学修の到達目標

卒業論文のための準備期間という意識をもち基礎的な項目の、一通りの理解と習得ができていること。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミに対する取り組み（80%）を主軸に、たまに講義の感想などをきくのでそれも参照する（20%）

8. テキスト・参考文献

以下のテキストを利用する予定だが特に買わなくてもいい。

田中秀臣『AKB48の経済学』朝日新聞出版社

田中秀臣『日本経済復活が引き起こすAKB48の終焉』（主婦の友社）

田中秀臣『ご当地アイドルの経済学』（イーストプレス）

田中秀臣『偏差値40から良い会社に入る方法』東洋経済新報社

9. 受講上の留意事項

毎回の授業でわからない点はぜひ積極的に指導教官に伝えてほしい。またゼミの内容には直接に関係はしないが、個別の面談などやゼミの時間中に、各自の進路やまた全体的な就職・進路状況などについてのガイダンスやまた情報の提供を行う予定である。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。